

第3章 Chapter 3 宣教師不在の西南学院

2000年、米国南部バプテスト連盟は、いわゆる信仰宣言を改訂した。その内容は、「信仰の中核はイエス・キリストよりも聖書である」、「女性は牧師にはなれない」、「妻は夫に従うべき」という根本主義の影響を色濃く反映したものであった。同バプテスト連盟は、この信仰宣言に賛同する署名を各宣教師に強要した。それを拒むことは、宣教師の解任を意味したが、西南学院のすべての宣教師は署名を拒否した。その結果、西南学院に宣教師は不在となった。

バプテスト宣教100年記念大会のプログラムと記録(1989年)



M.L.ボールドゲンのライティングビューロー (1932年頃)



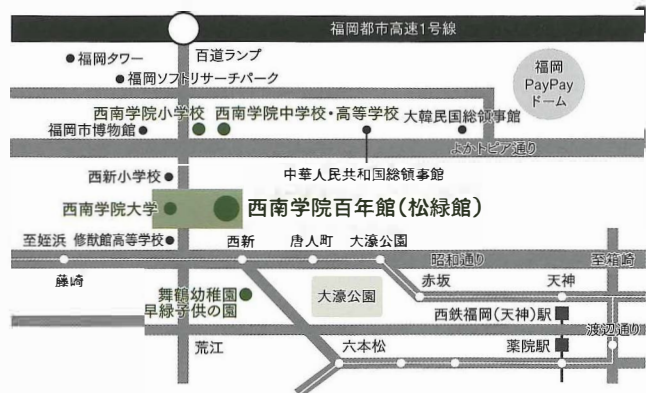
『キリスト新聞』に掲載されたハンキンス夫妻の公的書簡 (2003年7月19日)

宣教師記念碑を囲んで記念撮影を行う最後の宣教師(2008年5月15日)



アクセス

- 福岡空港 → 西新駅下車 約17分
- 博多駅 → 西新駅下車 約12分
- 地下鉄 天神 → 西新駅下車 約8分  
※地下鉄西新駅(③番出口)から徒歩5分
- 博多駅バスセンター → 修猷館前 約35分
- 天神 → 修猷館前 約20分  
※修猷館前バス停から徒歩5分
- 福岡空港(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学 約25分
- 博多駅(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学 約20分
- 天神(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学 約15分



西南学院史資料センター  
〒814-8511 福岡市早良区西新6丁目2番92号  
TEL:092-823-3920 FAX:092-823-3184  
E-Mail:swarc@seinan-gu.ac.jp

西南学院

# 宣教師 79人の たまたまの 西南学院を 支えた

2020年 西南学院史資料センター企画展





西南学院は、1916年に米国南部バプテスト派の宣教師によって創立された。100年を超える西南学院の歴史において、宣教師たちが果たした役割と貢献は計り知れない。特に戦後の荒廃から新しく歩み出すために献身的な働きがあり、宣教師をはじめ米国南部バプテスト連盟外国伝道局の大きな支えがあった。また、学生・生徒にとっては、宣教師が日本に持ち込んだ異文化を体験できた貴重な経験であった。

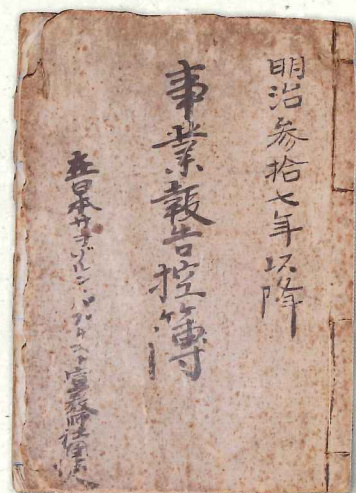
しかし2004年、西南学院は、宣教師が不在となる時代を迎えた。その背景には、米国南部バプテストの信仰宣言が根本主義へ舵を切り替えたことが挙げられる。この企画展では、これまでの宣教師の働きを顕彰するとともに、同バプテスト連盟の変質を紹介する。

第1章 Chapter 1 宣教師による伝道と教育活動

1889年、J.W.マッコラムとJ.A.ブランソンが、米国南部バプテスト連盟派遣宣教師として初めて横浜に上陸し、日本の地を踏んだ。その後、同バプテスト連盟は、主に西日本地域で活動し、九州でも各地で宣教活動に携わっていくことになる。そして、宣教活動を効果的に行うには教育事業が有効と考え、西南学院の母体となる1907年の福岡神学校の開校へとつながっていく。



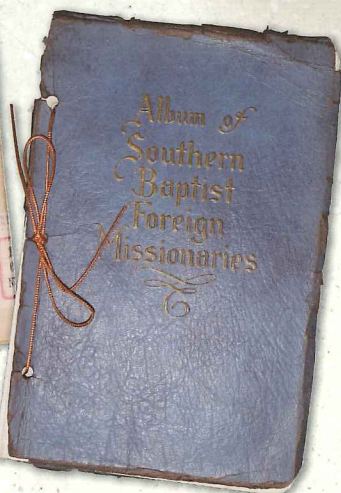
第1回西南部会(西部部会)(1903年)



『明治参拾七年以降事業報告控簿』(1904年~1917年)



『日本バプテスト西部伝道略史』(1922年10月)



米国南部バプテスト宣教師のアルバム(1926年4月)



西部バプテスト伝道開始30年記念絵はがき(1922年)

西南学院を支えた  
79人の  
宣教師たち

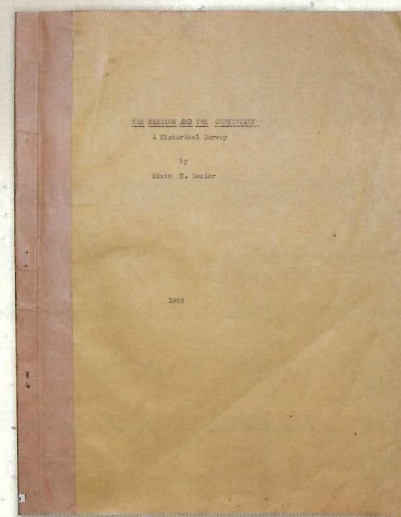


第2章 Chapter 2 西南学院の発展と宣教師の貢献

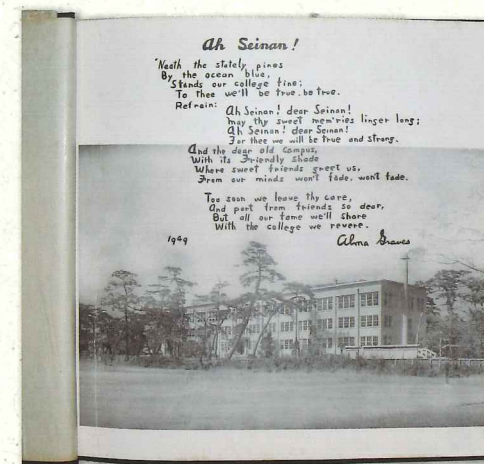
西南学院における宣教師たちは、グリークラブ(S.F.フルジュム)の音楽活動をはじめESS(A.グレイヴス)の英語劇やスピーチコンテストなど、学生に異文化を紹介した。また、M.B.ドージャーは、学校教育に振興があったとして西日本文化賞を受賞するなど、宣教師たちのさまざまな活動が行われた。



旧1号館を増築した際の礎石(1957年)



THE MISSION AND THE CONVENTION(1963年)



『Ah,Seinan!』が掲載された卒業アルバム(1949年)



ESSの英語劇(1958年6月28日)



大学祭仮装行列でのホートン親子(1962年)